



自分達の思い描いた家を求め続けて、31軒目に弊社の展示場にお越し頂いたのがNさんとの出会いでした。展示場に入った瞬間に感じた爽やかな空気感が印象的で忘れられないと、弊社で建築することを決めていただきました。その後家が完成して3年。「吹抜けで家全体に繋がりを持たせた広がりを感じる間取り、自然素材の心地よさに癒される毎日です。夏も冬も一年中快適な室内環境で、以



木のすまい仕様の家

家が完成してから新しい命も誕生し、ご家族仲良く賑やかに生活されているN様。N様の幸せを末永く見守っていききたいと思えます。

「自然の恵みが生んだ心地よい住まい」

前の住まいより広くなったのに、夏はほとんどエアコンを使うことなく、光熱費は半額くらいになりました。」とNさん。冬は蓄熱暖房機を使用しているからほんわかした温もりを感じるそう。無垢の木の香りは3年たった今でも変わらず、「子供達を実家に連れて行くと、『体から木のいい香りがするね』って言われるんですよ。それに年数が経つにつれて深みを増してきた何ともいえない風合いがとっても好きなんです。」と自然の恵みが生んだ心地よい住まいに大変満足頂いているご様子です。

民家の美しさに学ぶ

美しい建物をつくるために、昔の大工の口伝には寸法に対するルールがありました。社寺建築の標準設計指針としての「木割書」には、細かな部材の形状にまで触れています。一方、民家の場合は、美観やプロポーションについての伝承もたくさんあったと思われませんが、残念ながら記録は残っていません。歴史的な美しさは、職人の口伝や地域の紳士工程などの規範が作り出した景色といえ、つまりは隣の建物と同じものをつくるのが、言わずもがなの協定だったのです。

一軒一軒の家が美しくければ、町も美しくなりますが、町は価値観の違う多くの人の集まりですから、もちろん簡単にはいきません。しかし、これから私たちの役割は時代的な要請を踏まえたうえで、伝統的な大工技術と国産材でつくられた「日本の家」をつくることだと考えています。かつての古民家がそうであったように、日本の気候風土に根ざした家づくりが、とりもなおさず「美しい日本の風景」をつくることにつながるからです。

ひょうご木のすまい協議会
会長 三渡 圭介

【兵庫県庁林務課からのお知らせ】

兵庫県の木造住宅ローンのご案内

【融資制度の概要】

融資利率1.0%固定(平成25年3月31日融資実行分迄)

●新築・増改築

最高限度額: 2,000万円(返済期間25年以内)
ただし、県産木材を60%以上使用し、長期優良住宅の場合は返済期間は35年以内に延長可能です。なお、26日目以降の利率は2.0%になります。

●リフォーム

最高限度額: 500万円(返済期間10年以内)
※平成25年4月1日～平成25年9月30日融資実行分の利率については、平成25年3月に決定します。
詳しくは下記のホームページをご覧ください。

兵庫県 木造住宅ローン

検索

— ひょうご木のすまい協議会のイベントご案内 —

小冊子

「キノコイェノコ ひょうご2012」

「ひょうごの木を使った木の家」について、ユーザーの話や兵庫県林務課の話などが、掲載されております。木のすまいの考える「スマートハウス」では、より良くひょうご木のすまい協議会を理解していただく内容となっております。

- 小冊子「キノコイェノコ」ご希望の方は事務局まで～送り先を事務局までお知らせ下さい。



※バックナンバー(ひょうご2011、2010、2009)もございます。数に限りがありますので、ご希望の方はお早めにお申込ください。